

光ファイバー通信(南関局・坂下局)いよいよ開始 ……②
一般質問のやりとり報告 ……④～⑨

22年度一般会計補正 ……③



南関第3小学校 夏休みの水泳教室

光ファイバー通信南関局・坂下局いよいよ開始へ!!



6月定例会が21日から24日までの4日間開かれました。今回は光ファイバー整備事業など13件の繰越明許費の報告をはじめ、歳入歳出に4億2,844万円を追加し、総額を46億9,082万円とする平成22年度一般会計補正予算など補正4件、南関町課設置条例の一部改正他条例改正2件、条例制定1件などをすべて原案どおり可決しました。

平成22年度への繰り越し事業分

一般会計	光ファイバー整備事業 [南関局 10月末～]	2億2,382万円
	// [坂下局 平成22～23年度]	1億6,000万円
一般会計	養護老人ホーム施設整備事業(スプリンクラー設置) [消防法改正により24年3月まで設置義務]	4,500万円
特別会計	特別養護老人ホーム施設整備事業(スプリンクラー設置)	2,500万円
一般会計	電算システム改修委託 [子ども手当の支給開始に伴う現行システムの改修]	364万円
一般会計	・保育所統合整備事業	3億1,212万円
一般会計	保健センター改修工事	1,100万円
一般会計	農村広場施設整備事業 (トイレ)	2,000万円
一般会計	新幹線濁水対策受託事業	1億457万円
一般会計	道路新設改良事業	8,578万円
一般会計	公営住宅改修事業 (柴尾団地)	500万円
一般会計	全国瞬時警報システム設置業務委託 [地震などの有事における自動警報システムの設置]	792万円
一般会計	営繕工事 (一小・三小)	1,334万円
一般会計	// (中学校・多目的会議室)	200万円

平成22年度 主な補正

鳥獣被害防止総合対策事業負担金	1,173万円
新幹線濁水対策受託事業	8,030万円
改良舗装工事	1億1,600万円



8月7日にあったぎおんさんの大蛇山

一般会計 4億2,844万円追加し、46億9,082万円になりました

歳入

分担金及び負担金	3万円
国庫支出金	10万円
県支出金	2,454万円
諸収入	8,385万円
町債	3億1,990万円
合計	4億2,844万円

特別会計補正

公共下水道事業	△2,406万円
介護保険事業	23万円
介護サービス事業	2,490万円



歳出

議会費	議会費	28万円
総務費	総務管理費・徴税费・戸籍住民基本台帳費 選挙費・統計調査費・監査委員費	9,539万円
民生費	社会福祉費 児童福祉費	1,857万円
衛生費	保健衛生費	1,419万円
農林水産業費	農業費	1億198万円
商工費	商工費	△14万円
土木費	土木管理費・道路橋梁費 河川費・住宅費・下水道費	1億4,802万円
消防費	消防費	1,781万円
教育費	教育総務費・小学校費・中学校費 社会教育費・保健体育費	3,210万円
予備費	予備費	21万円
合計		4億2,844万円

※各項目は万円未満切り捨てのため、合計は合っていません。

坂下三ツ角付近 改良早急に!

山口

建設課長 建物移転補償契約凍結



山口純子
8番議員



歩道のない下坂下北辺田付近の道路

Q 坂下三ツ角付近の改良工事について、その後の進捗状況を探ねる。

A 町長 平成十九年六月に坂下地区の区長、住民の皆さんより交

通安全対策として改良工事実施要望書が町に提出され、町長自ら熊本県と玉名地域振興局へ要望書を持参し必要性を訴えた。県はこの要望を受け、交通量の調査を実施したところ、危険な状況であるので、交通安全対策が必要であると判断しました。平成十九年十二月、交通安全対策事業説明会を行い、平成二十一年八月に詳細設計の協議、二名の補償交渉も順調に進

み内容の合意が成立したという事です。八月に建物移転補償契約締結、十二月末までに建物の解体を行なうと聞いております。もう一人の方は移転先を探しているところ

Q 大牟田植木線、下坂下、坂下神社から米田地区の歩道について、県は計画されているか尋ねる。

A 町長 玉名地域振興局では、町からの要望や独自のパトロールなどにより二カ年の整備計画を作成しているところ

ですが、歩道の設置については計画されていません。上坂下交差点の改良後に実施予定の方向として考えているようです。



おすひ 子ども達を守っていただくのは私たち大人。環境を整えて(住んで良かった)という南関町にしたい。



坂下三ツ角交差点



橋永芳政

9 番議員

南関町の保育園の園児に 同じ扱いを願う

橋永

Q 町民への議会傍聴を、「やまざと」や防災無線などで呼びかけているが、議会の傍聴人の増加を目指すには今後、ナイターや土曜、日曜日などの開催、更に座り心地のよい、疲れのな



議会傍聴席

A 町長 事務局の方が席数を増やすため仕切りを前に出すのが200万円程度かかるならば、町舎内の改装等も出てきているので、一緒に併せた形でゆっくり傍聴できるように、車庫と書庫の移転の際に改装をさせていただきます。

い傍聴席にと以前からお願いしてきたが、改造予算化がなぜできなかったのか、なぜ駄目なのか伺いたい。

Q 9月から二つの保育園になるが、統合保育園に通う園児だけに5キロ以上年間1万8,000円の補助金を出すのは不公平と思う。

A 町長 今回の通園補助は、保育園統合により遠距離通園となる園児を対象とした補助です。第一保育園に行かれる方は今後の問題として別件での考え方が適当で

はないかと思っっている。
Q 一つの保育園の園児だけを考えているのか、第一保育園に通う園児、統合保育園に通う園児、同じ南関町の将来ある子どもですよ。



議員12名が一丸となってお願いをしている。そこは町長、考えていただきたい。
A 町長 皆さんの意見がそういうことであれば、前向きに検討してまいりたい。
おすひ 町長の最終的なご返答をいただきたい。議会全員のは要望で、是非取り上げ、実行に移していただきたい。

統合保育園の進入道路 安全対策を問う

島崎

交通状況など調査し 考える

町長



島崎英樹
6番議員

A 建設課長 支障については切実な要望として強く受け止めている。今後も加入促進を重点に進め、これからは浄化槽や農村集落排水事業など

A 町長 費用対効果や下水道整備審議会などの意見を聞きながら、南関町（地形的にも）の状況にあった整備計画を考えたい。なお本年度は、県の生活排水処理施設整備構想が見直される年なので合わせて検討していく。

Q ①下水道整備事業 認定区域内（下水道区域）では合併浄化槽の設置ができず、住宅の新築などに支障が出ているようだ。認定区域を見直す考えはあるか。



Q ②9月開園の統合保育園（南関こども丘保育園）執行部案では統合保育園に通う場合だけ遠距離送迎助成（5km以上月1,500円）が適用される。しかし子育て支援の観点から第一保育園も対象にすべきと思うがどうか。

も深く検討していく必要がある。ちなみに町は下水道整備事業に約35億円を投資している。

Q 開園までの総事業費はいくらか。

A 町長 第一保育園も近いうちには統合保育園に合併しなければならぬ。それが基本構想。

Q 保護者が園を選べるという意味から第一保育園を残す考えはないか。

A 町長 議会の意見とということであれば考えてみたい。

Q 開園までの総事業費はいくらか。

A 福祉課長 今後の予定を含め概算で5億9,073万2,100円。うち県補助等が1億6,065万5,000円。法人負担が6,716万9,500円。町負担が3億6,417万7,600円。うち過疎債が3億5,500万円で町の自主財源は918万7,600円を見込んで

A 町長 開園した時点で交通状況などを調査し交通渋滞が発生するようであれば、国道443号の管理者と右折路線の設置等を考える必要がある。

Q 交差点も近く「危ない」との指摘がある新設の進入道路の安全対策を尋ねる。

A 町長 町民の励みにもつながると思う。前向きに検討したい。

Q ③町民栄誉賞の創設 創設についてどう考えるか。

Q この金額は町民にきちんと伝えるべきものだ。

A 町長 ぜび広報「なんかん」で説明したい。





鶴地 仁
4 番議員

鷹の原城跡から 大津山山頂までを含めた 総合的な整備計画を 鶴地

① 鷹の原城跡整備事業

Q 国指定史跡化の計画があるのですが、大津山山頂までも含めた総合的な整備計画を検討願います。可能な箇所は極力、遊歩道等を整備し、大津山山頂までを健康づくりの観光コースとすれば活性化が期待できます。まずは、山頂は木々が生い茂り、まったく見渡せない状況のため早急に山頂の見晴らしの確保から。

A 町長 この事業は、大変大きな事業であり国史跡にすることで、知名度アップにつながる。大津山は、町のシンボリックな存在であり、大津山城跡と鷹の原城の両城跡、併せて古町と関町の両城下町を対比させた歴史散策コースとして整備

備することは、大変意義深いものだと思います。山頂の樹木伐採は、所有者の理解と管理主体を明確にしながら出来る方向で進めてまいりたい。

A 教育長 鷹の原城については、平成7年度から発掘、一応、主だった発掘は21年度で終わり、本年度は鷹の原城と御茶屋跡等を含めて報告書を作成し、それをもとに国指定への計画を立てていく。

おひら 御茶屋跡から鷹の原城跡まで、更には大津山公園から頂上までの道筋に色んな花木を植えればすばらしい散歩コースになる。新聞等でPRし、町内外に広くボランティアで記念植樹を勧めれば、散歩する人も増え健康づくりに繋がる。

② ごみ処理問題

Q ごみは大きな社会問題であり、特に生ごみはCO2問題が叫ばれる中、焼却に膨大な量の石油が消費されている。生ゴミ対策と啓蒙活動について。

A 住民課長 南関町の処理量は平成21年度2,270トン、ごみ

処分費用は、約1億5,400万円負担、1世帯当たり約3.8万円と

なっている。燃料は、灯油であり約134キロリットル。生ごみ処理機等の購入に対して補助金、平成12年度から平成21年度まで、全体で443機出している。補助金は上限3万円。大型バイオ式生ごみ処理機の導入については、事業所等の生ごみの発生を有効に処理し、堆肥化の後、地域に還元するシステムが出来上っていけば、生ごみが資源として活用できることになる。費用対効果等の問題があり、この点を踏まえ調査、勉強をしていきたい。町民に対する啓発は、ごみ処理に関する費用や燃料使用量等を情

報としてお知らせし、広報やカレンダー等で啓発していきたい。

Q ③ 町の口蹄疫対策について。

A 町長 管内22の農家に消石灰を配布した。今後2市4町で計5回の配布を計画している。

A 経済課長 消毒機材等の確保、消毒ポイント、埋却用地の事前調査、人員の配置計画等をたてており、埋却場所がない農家については経済課で検討している。

Q 不幸にして発生した場合、今後の後継者の育成も考えた町の支援策が必要。口蹄疫のような緊急事態に備えた募金活動を日頃から町主体で取組み、基金として積み立てておくのは如何か。

A 町長 支援策は検討すべきであり、非常事態に備えた募金を頂き、それを毎年積立てておくということも必要であると思う。

鷹の原城跡の発掘現場



町長公約の財源と 産廃処分場問題整備計画を

唐杉



唐杉 純夫
10番議員

Q 3月議会での答弁では少子化、定住化対策による人口増政策実現で年間8,800万円が必要と言ったことであるが、これに高齢者福祉対策を入れると概算いくらになるか。

A 町長 現在のところの概算であるが、乗り合いタクシーでは153万円、宅配事業で350万円とみている。これからのいろいろな事業をしていくが8,800万円のみでは十分やっていると考えるのではないかと考えている。

Q 年間8,800万円の新たな出費が財政計画に及ぼす影響はどうか。これを町が単独で行くことになった当時の平成18年度作成の財政計画

と比べて基金の残高推移はどうなっているか。

A 総務課長 18年作成時では3基金合計の残高で22年度末で7億3,700万円。27年度末では8億4,600万円である。22年度作成時では22年度末15億4,600万円。27年度末では12億4,200万円となっている。これは年間8,800万円は織り込み済みの数値である。

Q 22年度までの4年間の推移だと驚くなかれ、年間約2億円が基金として貯まっていたことになる。少子化対策定住化対策が是非推進すべきだが、このような基金増が何によってもたらされたかは、現在済んでいる住民の方たちあつてのものだ。これが高齢者福祉にも注力しなければなら

ない根拠だが、「緑にすぎず町、なんか」あるいは「ずっと住みたくなる町、南関」と産廃処分場設置はどう考えても、同じ目的方向と合致

しない。人口は増えるか。

A 町長 産廃処分場設置は県の方針としては全国モデルになるような施設という説明である。イメージ的には悪いと思うがあるけどは理解しなければならぬと思っ

Q それでは建設には賛成ということか。

A 町長 県の立場もある。現在のところは中立である。

おすひ 中立は賛成とおなじ

だ。これが住民の付託を受けた町長のことばか。どちらを向いて仕事をしているのか、理解に苦しむ。





打越潤一
3番議員

公共関与型産業廃棄物 最終処分場について

打越

Q 地元と県の意見は現段階では平行線、合意点を見出せないようだが、どう考えますか。

A 町長 当施設はどこかに必要な施設であり、ただ単に反対すればよいという問題ではない。そのため、県に対して、処分場への安全上の不安に配慮するために、まずはしっかり調査、その結果は包み隠さず、住民に丁寧に説明するように強く求めているところである。さらに、県からは安全対策等の説明が十分ではないとの住民の意見もあり、県に対して、施設の安全性を究極まで高め、安全・安心な施設の内容を具体的に提出した上で住民に真を問うよう求めている。

おすし 説明会は何回開催されても堂々巡りというか、処分場はなぜ南関町に1番目に選ばれたのかと。

しかし県はあくまでも南関町を第1番目に決めたら、造る、それを理解してくれと、一歩も引こうとしない。全然話ばかり合わない。

Q 県議会環境対策特別委員会の産業廃棄物処分場の現地視察が平成21年7月に行われているが、その内容は。

A 副町長 県の担当課から地元の建設反対の根拠である地下水の不安が特に大きいので重点的に説明された上で、建設候補地のほか、周辺の状況を確認いただいている。現地確認の後、意見交換が行われ、町長や出席した町議から、地元の状況を

説明をしている。南関町において一番困るのは、地元下坂下地区に住んでおられる人。現地視察は造るということを前提としたように思われるが・・・。県議会で知事、環境生活部長の答弁があっている

Q 南関町において一番困るのは、地元下坂下地区に住んでおられる人。現地視察は造るということを前提としたように思われるが・・・。県議会で知事、環境生活部長の答弁があっている

A 副町長 知事からは、産業廃棄物の最終処分場は、埋立容量を長期的・安定的に確保するという点では、十分な状況はない。そのため、公共関与による処分場整備は必要不可欠な取り組みで



あると。地元の方々の思いをしっかりと受け止め、一つ一つ丁寧に解消に向けた努力を重ね、ご理解を求めていく。また、安全・安心な施設となるよう、技術的な検討にも最善の努力を重ねて、事業を推進してまいりたいと答弁をされている。

環境生活部長は、施設そのものへの不安に対しては、最新技術の導入も視野に入れ、より安全・安心な施設となるよう、技術検討を重ねていく。周辺環境への不安に対しては、現地調査で地下水などの現況を適確に把握し、環境アセスメントの一連の手続きを通じて、地元に対し一つ一つ丁寧に説明をすると答弁をされている。

おすし 知事は南関町に造るものとして答弁されている。これは現地はあくまでも南関町から動かないというようなことか。



老人ホーム延寿荘の 納涼祭

7月28日 老人ホーム延寿荘にて納涼祭が開催されました。今年は例年になく暑い日が続いていましたが、皆さんおそろいの真っ赤なTシャツでご家族の方を迎えられ、年に一度のこの祭りを歌に、踊りに、大正琴にと暑さを吹き飛ばすように職員の方々と一緒に元氣いっぱい楽しんでいらっしゃいました。

うすま苑で恒例の夏祭りを開催



年間行事

- 4月 開設記念日（花美・なかま）
- 6月 輝き大会
- 7月 夏祭り
- 9月 親善スポーツ大会
- 10月 運動会
- 11月 南関町福祉スポーツ大会
なかま収穫祭
- 12月 クリスマス会
- 1月 新年会・成人式
どんど焼き

7月12日 南関町の介護施設において防災訓練が行われました。利用者の皆様が安全に、そして安心して過ごして頂けるようにと定期的に取り組んでいるとの事でした。その後、消防署の方のアドバイスにも皆さん真剣に耳をかたむけておられました。



介護施設において 防災訓練を実施

町の将来を担って

まちづくり推進課が新設

「住みやすい町」「住んでよかった町」を柱に“まちづくり推進課”が7月1日より新設されました。私たちにとって優しい町づくりができるよう町民一丸となって取り組んでいきたいものです。



まちづくり推進課

昨年12月に新型救急車が配備されたことに伴い、荒尾消防署南関分署にて救急車の設備の説明とAED（自動体外式除細動器：心室細動の際に機器が自動的に解析を行い、必要に応じて電気的なショックを与え、心臓の動きを戻すことを試みる医療機器）の使用法について議員研修を行いました。AEDは日頃から設置してある場所、救急救命方の勉強が大切であることを改めて認識しました。新型救急車は、全長5.6m、全幅1.895m、高さが2.69mあり、最新の設備を備えている分一回り大きくなっています。道路が狭かったため、途中で救急車を止め、長い距離を担架で搬送したこともあるそうです。救急車が現場に一刻も早く到着できるように、樹木や生垣の枝の張り出しには日頃から注意が必要なこと、道路の拡張工事や渋滞箇所の解消が極めて大切であると感じました。

皆さんのいのちを守ります

新型救急車が配備



AED

議会日誌 6~8月

主なものを載せています

- 6月3日 議会全員協議会
- // 民営化問題調査特別委員会
- 7日 総務文教常任委員会協議会
- // 産業厚生常任委員会協議会
- 11日 議会運営委員会
- 22日 } 6月定例会
- ~24日 }
- 28日 総務文教常任委員会協議会
- 7月1日 産業厚生常任委員会
- 5日 民営化問題調査特別委員会
- // 総務文教常任委員会協議会
- 8月9日 } 議員研修
- ~12日 } ●島根県 最終処分場 (クリーンパーク出雲)
- 島根県 斐川町
- 鳥取県 湯梨浜町
- 20日 臨時議会
- 25日 } 第72回町村議会広報研修会
- ~26日 }

Topic!

日本水彩画展で 入選の快挙!



古賀義文さん(南関町上坂下)吉野電子工業(株)会長が第98回日本水彩画展(日水展)に初出品し入選を果たした。今まで県の水彩画展に出品していたが、今年5月全国規模に挑戦、みごと初入選となった。入選となった作品は「万田坑の機械」(写真)。

「自分が機械関係の仕事をしているので絵の中に古い機械を描きたかった」という。



万田坑の機械



- 編集 (広報調査特別委員会)
- 委員長 打越 潤一
 - 副委員長 井下 忠俊
 - 委員 田口 浩
 - 委員 鶴地 仁
 - 委員 境田 敏高
 - 発行責任者 本田 眞二

「猛暑日」、「熱帯夜」という言葉を連日見聞きする中、熱中症猛威振るうという記事が出ました。全国の熱中症による救急搬送が5月31日から8月15日までの2ヵ月半で3万1579人(県内432人)に達したそうです。この内、65歳以上の高齢者がおよそ半分を占めています。高齢者は暑さに対する感覚が鈍く、若い人より体内の水分量が少ないため、体温が上昇しがちで熱中症になりやすいそうです。熱中症は屋内でも発症するので、専門家は湿度計付き温度計を置き、室温28度、湿度60%になつたらエアコンを使うなど、目で確認できる温度の管理や十分な水分補給を呼びかけています。また、戸外だけ、昼間だけと限らないので、就寝前の水分補給も大切だそうです。厳しい残暑が続きそうですのでくれぐれもご用心下さい。(鶴地)

ティーブレイク

編集後記

